

お客様の夢を希望へ
希望を製品へそして進化へ。

あいさつ
会社の歳時記
技術の時間
ちょっとコーヒータイム

Vol.25

(有)今泉大伸



〒441-3131

愛知県豊橋市大岩町字小山塚6-2-28

:0532-41-8282

FAX:0532-41-8297

E-mail info@imaizumidaishin.co.jp

<http://www.imaizumidaishin.co.jp>



あいさつ

5月の連休も終わり、夏に向けてスタートした感じもあります。

皆さんは連休はどのようにすごされましたでしょうか？

私共も3，4，5，6日と休ませて頂きました。

その間に浜松まつりに行ったり5日は長嶋茂雄，松井秀喜 両氏の国民栄誉賞の授賞式をテレビで見たりしました。

共に球界を代表するスターですし、また、始球式につきましてもゴールデンキャストでとてもよかったですよね！

私は巨人ファンではないですが、それでも今回の国民栄誉式はよかったと思いました。

私たち日々を暮しているものは常に走るしかないですが、一時代を築き、一時代を築くうえにある努力は私たちの想像を超えたものであることでしょう。

おめでとうございます。また、私たちは私達のできる努力をすることが大切なのだと思います。

「努力することも才能である」本当によい言葉でした。

今回のニュースレターをお楽しみ下さい。



会社の歳時記

当社では5月にISO 9001:2008の認証を受けました。

当初は二次審査が二月の予定でしたが、2～3月の間公共事業の関連で審査を受ける事ができなくて、予定より伸びて4月20日最終の二次審査を受ける事が出来ました。約8ヶ月の長丁場ではありましたが、なんとか取得することができました。

その間ホームページの改善、そしてISOの準備、社内の業務など多くのことをこなしながら行ってきました。



品質方針

「お客様の夢が希望へ、希望が製品へと具体化できる企業へ」

私たちは、お客様の夢が希望へ、希望が製品へと具体化する企業を目指し、安全を最優先として、設計・生産・サービスをお客様に届けるようにいたします。

行動指針

「安全」を最優先とし、お客様に安心していただけるものをお届けします。

プロフェッショナル集団として「安全」に対して保証できない場合は、強い意志をもって判断することを致します。

お客様の声に真摯に耳を傾け、商品、サービスに反映し、適切な情報を提供いたします。

お願い申し上げます



よろしく

ISO取得に対しては文書化で一ヶ月のうち二週間(8時間全てではないですが)こなし、社内業務の納期に間に合うようにこなしとあつという間に時が過ぎ、本当に一ヶ月が短いなーと感じました。

また社内の環境整備においても床の塗り替えなどできるだけコストをかけずに多くを社内にて行いました。

今回このISO取得を機会ととらえまして「チェンジ」していくつもりであります。

よろしくお願い申し上げます。

『安全・それがすべてに対して優先する』

技術の時間

以前 当ニュースレターでも紹介いたしました『永遠の0』の売り上げが200万部突破、そして映画化(2013年12月公開予定)になっております。

さてこれに関係してNHKスペシャル『零戦に欠陥アリ』の中で、日米の人に関する考え方が違う点があきらかになってきました。

物を作るということは発注者(立案者)・製作者(設計者)・使用者(利用者)、この3つのバランスがとれて良い運用・良い製品ができるのですが、日本では発注者(立案者)の力が強くて製作者はそれに対して仕様を満たすように設計する。

しかし、使用者(利用者)の声は立案者に伝わらないこと、また製作者(設計者)が不安に思う事にもフタをかぶせてしまい結局は改善されぬまま進んでしまうことがしばしばあるんですね！！

しかし米ではパイロットを育てるコストを考え人命を守ることを考える。そしてパイロットの意見に関してもすぐに上層部に伝わる。この点は見習うべきではないでしょうか？

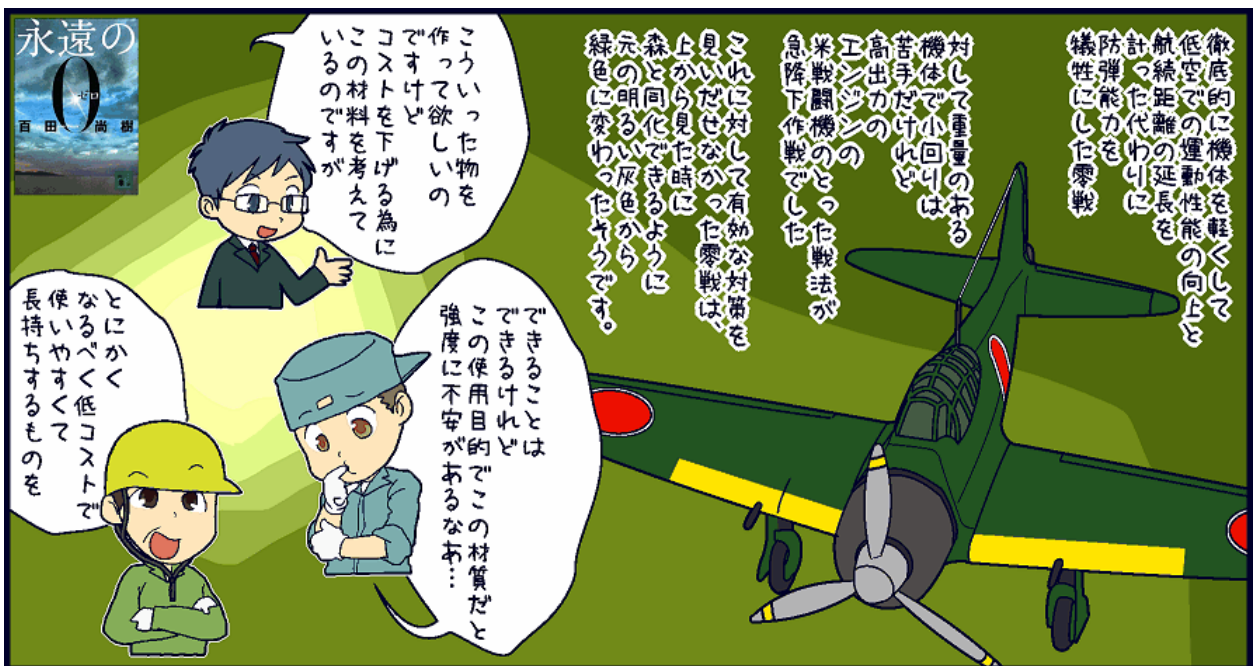
また運用に関してこんなことがありました。

ミッドウェー海戦前は空母に対する急降下爆撃はありませんでした。しかし珊瑚海海戦において米のパイロットは「空母に関して急降下爆撃は効果的」という1パイロットの意見を吸い上げ実施したのです。その為にミッドウェーで大勝利。

私たちはISOの品質方針の中で『安全はお客様のいかなる要望であろうとも最優先する。』ことを明記しております。

これは、ひとりの人の家族が、人生が、すべてに優先するのだと私たちは思っているからに他なりません。

永遠の0(ゼロ) 著者:百田尚樹 太田出版



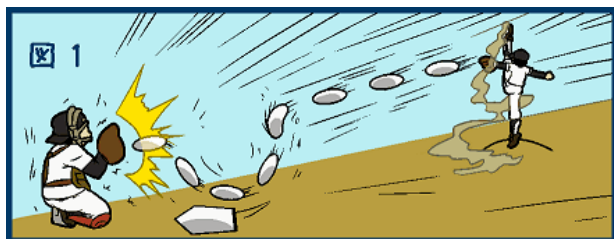
ちょっと コヒータイム

今回はちょっと夢も希望もなくなる(!?)かもしれない、でもそれが面白い!本というを紹介したいと思います。

小学生の息子が借りてきた、『空想科学読本』という本です。

まず内容について少し触れますと、日本のアニメやマンガにはウルトラマン、マジンガーZなど多くのヒーローが誕生していわけですが、それを現代科学の目線より見てみようというものです。

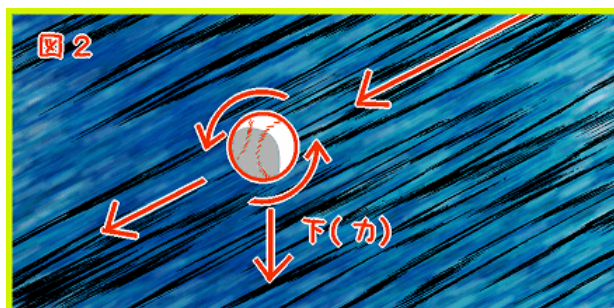
一例として、巨人の星の主人公・星飛雄馬の会得した消える魔球『大リーグボール2号』を検証してみようという項がありまして、その魔球は(図1)のように変化する軌道を取ります。



しかし(図2)のように球が回転するとき力がかかるわけです。

そして自然界ではエネルギー保存の法則というものがあって、外部から力を加えないかぎり、回転方向が変わることがありません。

では、どうすればできるのか?



『空想科学読本』(くうそうかがくどくほん)

著者/編集: 柳田理科雄

図3のようにバックネットに磁力発生装置を備え付け(!)ボールに磁力を持たせて投げる、ホームプレートに到達する時に磁力発生装置を作動させ軌道を曲げるわけです。

ただそれでもボールが消えるには球場の土とボールが同化しないとできませんよね!!

そんな大リーグボールにみな子供のころ夢中になったものです。

科学的に無理であってもマンガ家の想像力はすごいものです。

また常識にとらわれない考え方がヒット作を生むのかもしれないですね!!

